

琴平町学校等再編整備検討協議会資料

【第4回】

▶ 琴平町教育委員会 生涯教育課学校整備推進室

令和5年8月29日

既存3小学校敷地の拡張可能面積について

【新統合小学校・新統合こども園を併設する場合の必要敷地面積】

施設名称	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	新小学校・新こども園併設に必要な面積 (㎡)
新統合小学校校舎 (想定)	3,900	11,000~12,000	13,500~14,500 <small>※必要最小限の面積の為、イベント時等に駐車場が不足する可能性があります</small>
〃 体育館 (想定)	920		
新統合こども園 (想定)	1,400	2,500	

【既存小学校敷地の拡張可能面積及び新小学校・新こども園併設の可否】

施設名称	延床面積 (㎡)	現況敷地面積 (㎡)	拡張可能面積 (㎡) ※未確定	拡張后面積 (㎡)	新小学校・新こども園併設の可否
琴平小学校校舎	4,311	12,800	0	12,800	△ <u>(不足面積 約700㎡)</u>
〃 体育館	953				
榎井小学校校舎	3,677	12,100	0	12,100	△ <u>(不足面積 約1,400㎡)</u>
〃 体育館	895				
象郷小学校校舎	1,830	8,500	5,500	14,000	<u>不足なし</u>
〃 校舎	920				
〃 体育館	690				

※旧給食センター、北こども園 (めばえ棟) 敷地面積含む

※拡張可能面積については、土地所有者の同意を得ているわけではないので確定ではありません。

※新規土地及び象郷小学校の拡張後敷地が統合小学校と統合こども園を併設するにあたり必要な面積を確保できます。

町内施設のハザードマップについて

マップ名 施設名	琴平町総合ハザードマップ(令和3年3月作成)							緊急輸送路 主な避難路 接道情報
	金倉川浸水	土器川浸水 (想定最大規模)	満濃池		内水浸水	ゴマ谷池 (ため池) 浸水	避難場所 (洪水・内水氾濫)	
			浸水	洪水到達時間				
琴平小学校	0.5～3.0m未満	一部0.3m未満	2.0～5.0m未満	約20～30分	なし	なし	△	県道206線 原田琴平線
榎井小学校	0.5～3.0m未満	0.3m未満	2.0～5.0m未満	約15～20分	なし	なし	△	県道282線 高松琴平線
象郷小学校	浸水なし	0.3m未満	0.5～1.0m未満	約30～40分	なし	なし	△	県道206線 原田琴平線
南こども園 (旧南幼稚園)	0.5～3.0m未満	浸水なし	1.0～2.0m未満	約15～20分	なし	なし	△	町道
南こども園 (旧南保育所)	0.5～3.0m未満	浸水なし	1.0～2.0m未満	約15～20分	なし	なし	△	町道
北こども園みのり棟 (旧北幼稚園)	浸水なし	0.3m未満	0.5～1.0m未満	約30～40分	なし	なし	△	県道206線
北こども園めばえ棟 (旧北保育所)	一部0.5m未満	0.3m未満	1.0～2.0m未満	約30～40分	なし	なし	×	県道206線

※避難場所の△は条件付きで使用可能（2階を使用など）

統合学校建設前の既存校での統合について

<受け入れ可能学校について>

統合小学校の必要教室数			
	普通教室	特別支援教室	
統合小学校（3校）	12	4～8 ※増加傾向	—
既存校の受け入れ可能教室数			
	普通教室	特別支援教室	受け入れの可否
琴平小学校	12	6～8	○
榎井小学校	12	2	×
象郷小学校	6	3	×

<琴平小学校に統合した場合の必要整備費用> ※参考

工事内容 施設名	改修方法			
	①	②	③	④
	長寿命化工事	空調整備 (普通教室・特別支援教室) +トイレ改修+EV整備	②+屋上防水	③+外壁改修
整備費用 (概算)	事業費 約2.0億円 (実質町負担額 約1.3億円) 仮設校舎が必要な場合 +約2億	空調整備 約0.2億円 トイレ改修 約0.3億円 EV整備 約0.3億円 事業費 約0.8億円	②の事業費 約0.8億円 屋上防水工事 約0.5億円 事業費 約1.3億円	③の事業費 約1.3億円 外壁改修工事 約1.0億円 事業費 約2.3億円 仮設校舎が必要な場合 +約2億
設計・工事 期間	約4年間	約2年間	約2年間	約3～4年間